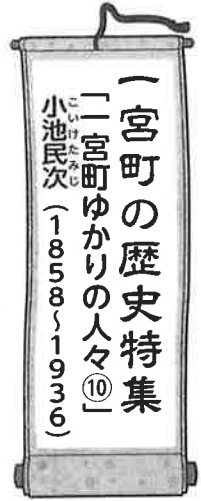


「広報文化財コラム」一宮の歴史特集」⑩

平成29年10月号



小池民次は安政5年（1858）遠江国（静岡県）浜松で誕生しました。小池家は代々、浜松藩主・井上家の家臣で、明治維新に際し、井上家が上総国鶴舞（市原市）に移封されるとそれに付き従いました。

明治6年（1873）、民次は木更津県（千葉県の前身の一部）の教員試験に合格、数えわずか16歳にして教員となりました。その後千葉師範学校（千葉大学教育学部の前身）に生徒として入学して、わずか10か月で修業、教員に復職しました。

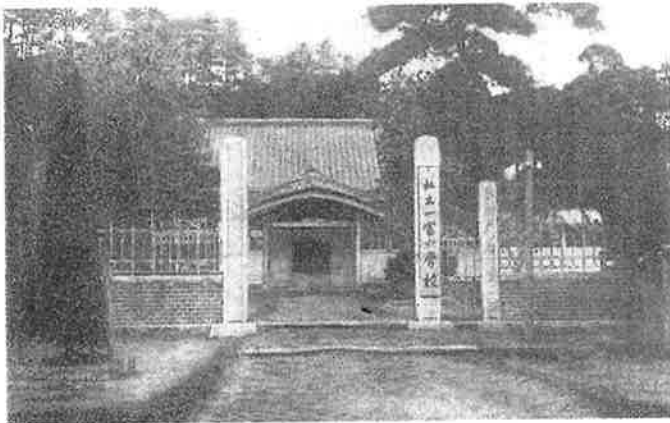
明治33年（1900）、千葉高等女学校（現千葉女子高等学校）が設置されると主席教諭に着任しました。明治41年（1908）には今までの功績が認められ新設された県立東金女学校（現県立東金高等学校）の校長に着任します。その後千葉高等女学校校長に転じたのち大正2年（1913）に退職しました。

退職後まもなく（同年9月）、一宮町長・加納久宜（1848～1919）の懇請に応じ、私立一

宮女学校の校長に着任、昭和5年（1930）4月まで校長・教員として学校経営にあたりました。

一宮女学校は久宜の他近隣町村の有志163名によって開校した私立学校で、昭和8年（1933）に廃校となるまで約600名の卒業生を輩出しています。昭和7年段階ではその校舎は現一宮小学校の敷地にあつたことが確認されます。

千葉県の教育に多大な功績を残した小池民次。昭和11年（1936）に79歳で亡くなりました。



▲ 私立一宮女学校校門と校舎（『一宮町史』1964年より）

【問合せ】 教育課 ☎(42)1416

平成29年11月号



水神社は船頭給に鎮座し、由緒は不明ですが、天文年間（1532～55）に田中氏が勧請（神仏の分霊を他の場所に移し奉ること）したものと伝わっている神社です。3月1日（現在は3月の第1土曜日）の春祭では「春祈禱」として獅子舞が行われます。「船頭給獅子舞」として町指定文化財に指定）

境内にある大公孫樹は水神社の御神木で、高さは約25m、幹回り約4mの巨木で、樹齢は400年を越えると見られます。伝承されています。伝承されている水神社の鎮座時期とほぼ同じということにな



▲ 水神社の大公孫樹

ります。昭和52年（1977）には町の天然記念物に指定されています。昭和40年代頃にお宮の火災が起きた際、一部が延焼したといわれますが、今でもたくさんの実をつけています。平成27年（2015）、長年風雨にさらされ、腐朽が激しくなったことから、地元の方々の協力によって樹勢回復工事が行なわれました。

船頭給区の一つのシンボルとして、地域を見守り続けています。

【問合せ】 教育課 ☎(42)1416